



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 京成電鉄株式会社

コード番号 9009 URL <http://www.keisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 三枝 紀生

問合せ先責任者 (役職名) 経理部連結・受託課長

(氏名) 田口 正樹

TEL 03-3621-2285

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	169,583	△4.5	15,442	△6.7	17,713	△13.5	10,799	△22.3
23年3月期第3四半期	177,556	△0.2	16,559	△8.6	20,467	7.3	13,896	12.2

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 10,652百万円 (△23.5%) 23年3月期第3四半期 13,916百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	31.90	—
23年3月期第3四半期	41.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	714,895	187,531	25.8
23年3月期	717,123	178,923	24.6

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 184,774百万円 23年3月期 176,197百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	3.00	5.50
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	231,000	△2.9	17,900	△12.3	19,600	△6.3	13,200	9.7	38.99

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	344,822,371 株	23年3月期	344,822,371 株
24年3月期3Q	6,298,430 株	23年3月期	6,194,441 株
24年3月期3Q	338,535,152 株	23年3月期3Q	337,547,243 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、連結業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P3
2. 四半期連結財務諸表	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P6
四半期連結損益計算書	P6
四半期連結包括利益計算書	P7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P8
(4) セグメント情報等	P8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P8
3. 補足情報	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災及び原子力災害の影響を受けた生産活動に持ち直しの動きがみられたものの、電力供給の制約や円高の長期化により企業収益が減少し、失業率が高水準にあるなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、より一層の経費削減に取り組むなど、業績の向上に努めたほか、「BMK（ベストマナー向上）推進運動」にも引き続き取り組み、お客様サービスの向上を図ってまいりました。

その結果、全事業営業収益は1,695億8千3百万円（前年同期比4.5%減）となり、全事業営業利益は154億4千2百万円（前年同期比6.7%減）となりました。経常利益は、持分法投資利益の減少等により177億1千3百万円（前年同期比13.5%減）となり、四半期純利益は107億9千9百万円（前年同期比22.3%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

<運輸業>

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、地震計の増設や高架橋耐震補強工事を推進したほか、デジタルATSについて、設置区間の拡大工事を行いました。また、東日本大震災により被災した一部区間における法面復旧工事を行いました。電力不足対策としては、本数を削減したダイヤによる運行を9月9日まで実施したほか、駅構内・列車内照明の一部消灯やエスカレーターの一部使用停止等を行いました。大規模工事については、押上線連続立体化工事において、墨田区内での工事を推進いたしました。

営業面では、「下町日和きっぷ」等の企画乗車券を販売したほか、成田空港における国内線の新規路線就航を記念したキャンペーンを行うなど、各種営業施策を実施いたしました。また、新型スカイライナーが鉄道友の会選定のブルーリボン賞を受賞いたしました。

バス事業では、一般乗合バス路線において、流山市内及び葛飾区等で新規路線の運行を開始いたしました。高速バス路線においては、東京駅～新浦安地区線を増便したほか、浜松町バスターミナル内にチケットカウンターを開設いたしました。また、新橋～成田線等深夜急行バスの運行を開始いたしました。このほか、東日本大震災の復興を支援するため、緊急支援バスの運行に加え、ボランティアバスツアーを企画・開催いたしました。

しかしながら、東日本大震災及び原子力災害による出控え等の影響により、営業収益は944億4千2百万円（前年同期比3.7%減）となり、営業利益は115億7千4百万円（前年同期比11.2%減）となりました。

<流通業>

百貨店業では、東日本大震災の影響により、フロア限定・時間短縮営業を余儀なくされたものの、各種イベントによる販売促進策を実施し、集客を図りました。

ストア業では、リブレ京成L a L aテラス南千住店及び高根台店をリニューアルオープンし集客を図ったほか、コンビニエンスストアが堅調に推移いたしました。

以上の結果、営業収益は538億6千6百万円（前年同期比1.5%減）となりましたが、経費削減により営業利益は9億4千万円（前年同期比66.6%増）となりました。

<不動産業>

不動産販売業では、「サングランデ亀有親水公園」及び「サングランデ印西牧の原ドアシティ」等の中高層住宅や成田市公津の杜等の住宅用地を販売いたしました。

不動産賃貸業では、「アビタシオン京成千葉中央」（有料老人ホーム）の賃貸を開始したほか、今年度中の竣工に向け、台東区浅草においてビジネスホテルの建設を推進いたしました。

以上の結果、営業収益は109億5千7百万円（前年同期比22.6%減）となりましたが、営業利益は27億7千3百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

<レジャー・サービス業>

映画業では、「京成ローザ⑩」全館にて、映写機のデジタル化を実施いたしました。

ホテル業では、近隣地域へのセールスを強化し、新規顧客の獲得に努めたほか、京成ホテルミラマーレにおいてロビーラウンジの改装を実施いたしました。

しかしながら、営業収益は77億5千4百万円（前年同期比16.1%減）となり、3千8百万円の営業損失となりました。

<建設業>

建設業では、分譲マンション及びビジネスホテルの新築工事のほか、公共施設工事等を行いました。

しかしながら、営業収益は109億6千4百万円（前年同期比6.7%減）となり、営業利益は1億9千5百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産合計は7,148億9千5百万円となり、前期末と比べ22億2千8百万円(0.3%)減少しました。これは、持分法投資利益の計上等により「投資有価証券」が39億5百万円、「現金及び預金」が27億8千4百万円増加しましたが、減価償却等により有形固定資産が88億7千6百万円減少したことによるものです。

負債合計は5,273億6千3百万円となり、前期末と比べ108億3千5百万円(2.0%)減少しました。これは、借入金が76億3千6百万円、「鉄道・運輸機構長期未払金」が23億8千8百万円減少したことによるものです。

純資産合計は1,875億3千1百万円となり、前期末と比べ86億7百万円(4.8%)増加しました。これは、「利益剰余金」が四半期純利益107億9千9百万円の計上等により89億1千万円増加したことが主たる要因です。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、平成23年11月8日に発表しました数値と変更ありません。

※業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,714	25,498
受取手形及び売掛金	13,637	13,251
分譲土地建物	19,061	19,507
商品	2,250	2,462
仕掛品	774	2,105
原材料及び貯蔵品	1,684	1,803
繰延税金資産	2,880	1,517
その他	10,859	13,808
貸倒引当金	△59	△63
流動資産合計	73,803	79,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	269,664	265,952
機械装置及び運搬具（純額）	20,133	17,758
土地	139,640	139,699
リース資産（純額）	32,766	31,917
建設仮勘定	37,186	35,407
その他（純額）	1,961	1,740
有形固定資産合計	501,353	492,477
無形固定資産		
のれん	290	21
リース資産	2,494	2,300
その他	10,452	9,628
無形固定資産合計	13,238	11,950
投資その他の資産		
投資有価証券	105,956	109,861
長期貸付金	667	647
繰延税金資産	17,068	15,337
その他	5,715	5,448
貸倒引当金	△910	△910
投資その他の資産合計	128,498	130,385
固定資産合計	643,089	634,813
繰延資産	229	190
資産合計	717,123	714,895

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,203	13,309
短期借入金	89,384	67,932
1年内償還予定の社債	100	16,100
リース債務	2,572	2,777
未払法人税等	3,272	1,197
前受金	25,855	32,679
賞与引当金	2,827	1,116
役員賞与引当金	73	52
災害損失引当金	1,546	972
その他	24,837	25,375
流動負債合計	165,673	161,512
固定負債		
社債	91,050	75,000
長期借入金	141,529	155,344
鉄道・運輸機構長期未払金	71,351	68,963
リース債務	21,460	20,485
繰延税金負債	2,114	2,037
退職給付引当金	32,077	31,697
役員退職慰労引当金	578	530
負ののれん	1,289	966
その他	11,075	10,825
固定負債合計	372,526	365,851
負債合計	538,199	527,363
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,803	36,803
資本剰余金	28,485	28,485
利益剰余金	112,920	121,830
自己株式	△1,969	△2,028
株主資本合計	176,240	185,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	126	△109
繰延ヘッジ損益	△169	△207
その他の包括利益累計額合計	△42	△317
少数株主持分	2,726	2,756
純資産合計	178,923	187,531
負債純資産合計	717,123	714,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
営業収益	177,556	169,583
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	133,646	127,842
販売費及び一般管理費	27,350	26,299
営業費合計	160,997	154,141
営業利益	16,559	15,442
営業外収益		
受取利息	232	224
受取配当金	240	243
持分法による投資利益	7,739	6,053
雑収入	2,085	1,242
営業外収益合計	10,298	7,763
営業外費用		
支払利息	5,510	4,976
雑支出	879	515
営業外費用合計	6,389	5,492
経常利益	20,467	17,713
特別利益		
工事負担金等受入額	22,839	875
その他	543	246
特別利益合計	23,382	1,121
特別損失		
固定資産圧縮損	22,530	793
投資有価証券評価損	512	97
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	486	—
災害による損失	—	138
その他	128	299
特別損失合計	23,659	1,329
税金等調整前四半期純利益	20,191	17,505
法人税、住民税及び事業税	4,793	3,539
法人税等調整額	1,086	3,036
法人税等合計	5,880	6,576
少数株主損益調整前四半期純利益	14,310	10,929
少数株主利益	414	129
四半期純利益	13,896	10,799

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,310	10,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△184	△112
持分法適用会社に対する持分相当額	△209	△163
その他の包括利益合計	△394	△276
四半期包括利益	13,916	10,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,520	10,524
少数株主に係る四半期包括利益	395	127

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	97,403	54,129	10,260	7,074	6,546	2,142	177,556	—	177,556
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	629	564	3,902	2,164	5,205	1,184	13,650	△13,650	—
計	98,033	54,693	14,162	9,239	11,751	3,327	191,207	△13,650	177,556
セグメント利益	13,032	564	2,484	230	280	32	16,625	△66	16,559

(注) 1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・ サービス業	建設業	その他 の事業			
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	93,766	53,527	7,078	6,264	6,644	2,303	169,583	—	169,583
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	675	338	3,879	1,490	4,319	1,130	11,834	△11,834	—
計	94,442	53,866	10,957	7,754	10,964	3,433	181,418	△11,834	169,583
セグメント利益 又は損失(△)	11,574	940	2,773	△38	195	189	15,634	△191	15,442

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去及びのれん償却額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

3. 補足情報

鉄道事業 輸送人員及び旅客運輸収入内訳表(単体)

区 分	当第 3 四半期累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	前第 3 四半期累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	増減率
輸 送 人 員	千人	千人	%
定 期	114,667	116,071	△1.2
定 期 外	77,895	80,999	△3.8
計	192,562	197,070	△2.3
旅 客 運 輸 収 入	百万円	百万円	%
定 期	14,548	14,268	2.0
定 期 外	24,110	25,124	△4.0
計	38,658	39,393	△1.9

(注) 輸送人員：千人未満を四捨五入して表示しております。

旅客運輸収入：百万円未満を切り捨てて表示しております。